

2018年6月13日

報道関係者各位

アイサンテクノロジー株式会社

## 愛知県による平成30年度「自動運転実証推進事業」受託のお知らせ

愛知県による平成30年度「自動運転実証推進事業」において、実施受託者として選定されましたので、お知らせいたします。

### 1. 本実証実験の背景

自動運転は、高齢者などの交通不便者や、中山間地域、離島などの交通不便地域に対して、新たなサービスを創出し、交通事故を始めとする様々な交通課題の解決に寄与することが期待されています。

愛知県は平成27年8月、国家戦略特区（近未来技術実証特区）に指定され、「自動走行実証プロジェクト」を推進しています。本プロジェクトでは、道路交通法等の規制を緩和し、無人自動運転車両を利用したタクシーなどの新たなサービスの創出を目指した実証を行うこととしております。

平成28年度においては、山間地や離島など、道路・周辺環境が異なる様々な県内の実証エリア15か所における自動走行を、平成29年度においては、国の規制緩和の動きと連動し、最先端の遠隔型自動運転システムを含む実証実験を県内10か所で実施しました。

これらを踏まえ、平成30年度においては、更に高いレベルでの実証実験に挑戦し、実用化に向けた動きを加速させてまいります。

### 2. 事業の内容及び委託内容

本事業は、「遠隔型自動走行システム」等を搭載した車両を用い、自動走行システムの活用が想定される実環境の下で、遠隔型自動運転車両を同時に走行させる実証実験を行うことを予定しております。

当社は、愛知県より本事業の委託を受け、国立大学法人 名古屋大学、株式会社ティアフォー、KDDI株式会社、岡谷鋼機株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社などの産学官連携の下、県内3箇所において実証実験の実施を予定しております。

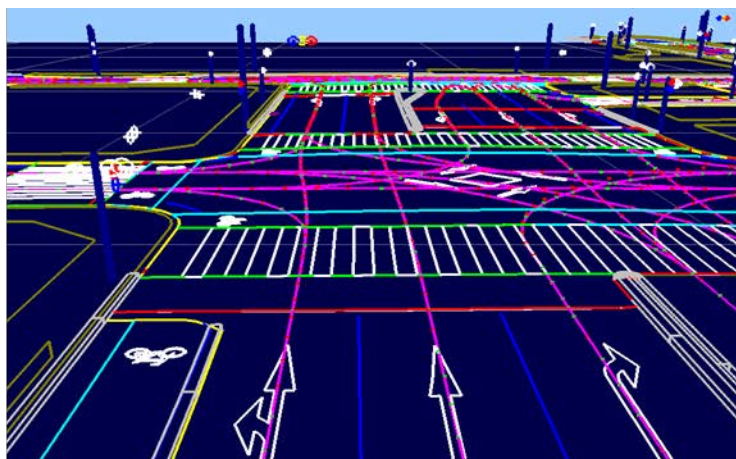
以上



エスティマベース遠隔型自動運転車両写真



小型ワンマイルモビリティ車両写真



高精度 3次元地図 (ADASmap)